

令和 7 年度 事業報告

社会福祉法人大阪市阿倍野区社会福祉協議会

令和7年度 事業報告

目 次

I 法人運営部門

1	理事会・評議員会・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	賛助会員の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	阿倍野区福祉善意銀行の運営・・・・・・・・	2
4	共同募金運動地区募金会の運営・・・・・・・・	5
5	日本赤十字社活動への協力・・・・・・・・	6
6	広報・啓発活動・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7	実習生の受け入れ、講師派遣等・・・・・・・・	7

II 地域福祉活動支援担当部門

1	地区社会福祉協議会等の活動支援・・・・・・・・	9
2	あべのボランティア活動センター・・・・・・・・	11
3	地域福祉講演会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・	13
4	区社会福祉施設連絡会の運営・・・・・・・・	13
5	阿倍野区キャラバン・メイト連絡会の運営支援・・・・・・・・	15
6	子育て支援と児童、障がい者（児）のための福祉活動支援・・・・・・	17
7	福祉教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	18
8	災害時に備える地域福祉活動への支援・・・・・・・・	19
9	地域福祉行動計画・地域福祉計画の推進・・・・・・・・	20

10	車いす貸し出し事業	21
11	緊急時食料等給付事業	22
12	オンラインを活用したつながりづくり	22
13	生活支援体制整備事業	22
14	介護予防事業（なにわ元気塾）	24

Ⅲ 生活支援担当部門

1	地域における要援護者見守りネットワーク強化事業	25
2	生活困窮者自立相談支援事業	28
3	生活福祉資金貸付事務事業	31
4	日常生活自立支援事業（あんしんさぽーと）	32
5	あべの 安全・安心 見守り、支え合い隊事業	34

Ⅳ 相談支援担当部門

1	阿倍野区地域包括支援センター事業	36
2	認知症強化型地域包括支援センター事業	40

Ⅴ 老人福祉センター部門

1	老人福祉センター事業	44
---	------------	----

I 法人運営部門

1 理事会・評議員会

(1) 理事会の開催

第1回 6月6日(金) 午後2時～

第1号議案 令和6年度 事業報告(案)について

第2号議案 令和6年度 決算報告(案)について

第3号議案 理事・監事候補者の推薦(案)について

第4号議案 評議員候補者の推薦(案)について

第5号議案 評議員選任・解任委員の選任(案)について

第6号議案 定款の一部改正(案)について

第7号議案 評議員会の開催(案)について

第8号議案 評議員選任・解任委員会の開催(案)について

<報告事項>

●会長・業務執行理事の職務執行状況について

第2回 6月24日(火) 午後1時～

第1号議案 会長・副会長の選定について

<報告事項>

●理事及び監事の選任について

第3回 3月10日(火) 午後2時～

第1号議案 令和8年度 事業計画(案)について

第2号議案 令和8年度 予算(案)について

第3号議案 理事候補者の推薦(案)について

第4号議案 評議員候補者の推薦(案)について

第5号議案 就業規則の一部改正(案)について

第6号議案 役員等賠償責任保険契約の締結(案)について

第7号議案 評議員会の開催(案)について

第8号議案 評議員選任・解任委員会の開催(案)について

<報告事項>

●会長・業務執行理事の職務執行状況報告

(2) 評議員会の開催

第1回 6月23日(月) 午後2時～

第1号議案 令和6年度 事業報告(案)について

第2号議案 令和6年度 決算報告（案）について

第3号議案 理事・監事の選任（案）について

第4号議案 定款の一部改正（案）について

<報告事項>

●評議員の選任について

第2回 3月24日（火）午前10時～

第1号議案 令和8年度 事業計画（案）について

第2号議案 令和8年度 予算（案）について

第3号議案 理事の選任（案）について

<報告事項>

役員等賠償責任保険契約の締結について

（3）監事監査の実施 令和7年5月21日（水）

（4）評議員選任・解任委員会の開催

第1回 令和7年6月12日（木）午後2時～

第2回 令和8年3月16日（月）午後3時～

2 賛助会員の状況

賛助会員は、社協の推進する地域福祉活動に賛同し、会費というかたちで資金面から支援する個人や団体のことです。社協が戦後の混乱期である1951年（昭和26年）に発足して以来、地域の住民組織を基盤とし、財源についても公費だけでなく住民の参加と自主財源を重視してきました。賛助会員制度は、この「住民による支え合い」を具現化する重要な財源の一つとして機能し、地区ごとの子育てサロンや高齢者見守りなど、地域に密着した活動に活用された。

個人	183名	（令和6年度	206名）
法人・団体会員	27団体	（令和6年度	27団体）
会費総額	678,000円	（令和6年度	699,000円）

3 阿倍野区福祉善意銀行の運営

福祉善意銀行は、社会貢献を願う人々の善意（現金、物品、招待など）を預かり、福祉を必要とする人々や施設へ仲介する仕組みです。当初は労力や技術の預託も行っていましたが、後にその機能はボランティアセンターへと移行。主に現金や物品の寄附を福祉活動の資金や物資として活用し、地域福祉の推進における資金面での「橋渡し役」を担った。

(1) 運営委員会の開催

第1回 6月10日(火) 午後2時～

令和6年度の寄付收受報告と払出し報告のあと、令和7年度の払出しの審査を行った。
(単位：円)

助成金の種別	助成団体	助成金額 (福祉善意銀行)	助成金額 (地域福祉推進基金)
福祉善意銀行	5団体	405,000	
子育て及び障がい者への 支援のための基金	13団体	355,000	
ボランティア活動応援資金	15団体	450,000	
コミュニティ育成基金	10団体	500,000	1,000,000
フロンティア事業	2団体	0	500,000
計	45団体	1,710,000	1,500,000

第2回 3月10日(火) 午後3時半～

令和7年度の寄付收受と払出し状況の見通しを報告し、令和8年度払出しの申請受付開始について審議した。

(2) 預託・払出状況

① 預託金額 1,229,833円(令和6年度 660,532円)

【金銭預託者(団体)一覧】 (順不同、敬称略)

大阪阿倍野ライオンズクラブ・大阪府宅地建物取引業協会なにわ阪南支部・阿倍野区いけばな協会・(株)SOZOプロパティ・(株)メモリーハウス・カインド介護センター・株式会社Tumugu・晴明丘地域活動協議会

【物品預託者一覧】 (順不同、敬称略)

団体預託 (株)エクスプレスマーケット・日本生命保険相互会社御堂筋南支店・カーブスあべのベルタ店・(株)大有商店

個人預託 151件(フードドライブ等)

※令和7年12月11日～15日に開催した「フードパントリー事業」にて、食材提供による事業協力をいただいた企業。(順不同、敬称略)

- ・株式会社ライフコーポレーション(本社ならびに阿倍野区内3店舗)
- ・株式会社曲田商店(とんかつKYK)

- ・ハチ食品株式会社
- ・ふーどばんく O S A K A
- ・なにわフードバンク

② 払出金額 3, 210, 000円 (令和6年度 3, 074, 800円)

【福祉善意銀行 払出先一覧 (5団体)】

特定非営利活動法人NOW・阿倍野区食生活改善推進員協議会・ハッピーロードあべの・ジュニア自然大学あべの教室「のはらむら」・阿倍野区わんわんパトロールを推進する会

【子育て及び障がい者への支援のための基金 払出先一覧 (12団体)】

晴明丘小学校地域園芸クラブ・あべのおもちゃ図書館てくてく・たんぽぽ・阿倍野区聴言障がい者協会・阿倍野区視覚障害者福祉協会・大阪吃音親子の会・いのちのわあべの・親子ニコニコ広場・あべの外遊びを考える会・ボランティアグループ竹の子・ダウン症研究所・あべの不登校児 軽度発達障がい児支援グループ スペースゆう

【福祉ボランティア応援資金 払出先一覧 (15団体)】

サロンあべの・阿倍野区手話サークル文の里・いきいき歌体操さわやか18・姫松会・どんぐり・手話サークル桜花・一八十の会・やすらぎのまちづくり・音訳グループ糸でんわ・エリーニ ユネスコ協会U's・長池りべん倶楽部・ボランティアグループひろ・しゅわネット・さくらの会・市民ミュージック倶楽部

【コミュニティ育成基金 払出先一覧】

地域団体名	申請内容
高松地域活動協議会	たかまつ祭り経費 (参加者記念品等)
常盤連合振興町会	まちなか防災訓練 (啓発物品アルファ化米配布)
金塚地区社会福祉協議会	スプリングフェスタなど地域コミュニティを育む諸事業経費
文の里地域活動協議会	ふれあい喫茶・ミニデイ・親子のつどいの各事業への助成・会館電気工事代
王子地域活動協議会	もちつき大会経費・ラジオ体操、オータムフェスタ景品代等

丸山地域活動協議会	防災啓発イベント「丸山防災パーク」事業経費
長池連合振興町会	防災用非常食料品
阿倍野地区社会福祉協議会	地域喫茶開設準備用品
晴明丘地域活動協議会	晴明丘ハロウィン秋祭り経費（会場設営費用）
阪南連合振興町会	防災用非常食料品

【フロンティア事業 払出先一覧】

トーキョーコーヒー大阪あべの・阿倍野区こどものいばしょ連絡会

4 共同募金運動地区募金会の運営【事務局】

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉活動を資金面から支えるための募金運動。戦後の社会福祉施設が困窮していた状況を受け、1947年（昭和22年）に全国的な運動として始まった。現在では、地域福祉の推進を目的に、地域の様々な課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、法律に基づき都道府県を単位として実施。阿倍野区では平成25年1月1日より区役所から区社協に事務局が移管された。

（1）一般募金（令和7年10月1日～12月31日実施）

① 配分審査会 7月23日（水）配分額：4,173,176円

② 街頭募金活動：

・地域振興会女性部長会協力 実施日：10月1日（水）

実施場所：丸山文化センターにて出発式を行い、あべのベルタ・

キューズモール前・JR天王寺駅東側周辺で実施

・日本ボーイスカウト大阪第120団協力 実施日：12月21日（日）

実施場所：キューズモール前・JR天王寺駅東側周辺で実施

③ 戸別募金活動：地域振興会の協力を得て実施

④ 学校募金活動：松虫中学校・高松小学校・文の里中学校（テーマ型）

⑤ 募金活動実績額（戸別・バッチ・職域募金等） 5,437,356円

⑥ 令和8年度共同募金助成金（令和7年度募金による配分額）

4,176,453円

（2）テーマ型募金（令和8年1月1日～3月31日実施）

① 募金テーマ：「食を通じた生活困窮者支援とつながりづくり」

② 募金金額：606,422円（昨年：531,355円）

年度	募金実績額	戸別募金	法人募金 職域募金	学校募金	街頭募金	インター ネット募金
7年度	606,422	308,880	96,558	45,168	49,816	106,000
6年度	531,355	252,554	183,883	10,000	33,918	51,000
5年度	302,884	128,000	96,691	0	49,193	29,000



地域イベント会場(晴明丘) 学校募金(文の里中学校)

テーマ型募金周知チラシ

5 日本赤十字社活動への協力

日本赤十字社の活動は、災害救護・医療・血液事業に加え、地域の赤十字奉仕団による献血推進や地域福祉活動が柱となっている。大阪市では、赤十字奉仕団の役員構成が地域振興会（町会・自治会連合組織）の役員と重なり、両者が一体となって活動している。これにより、日赤の活動資金（社資）募集や防災訓練、行政協力活動が地域に根差して効率的に行われ、地域コミュニティの維持・強化に重要な役割を果たしている。区役所が長らく事務局を担ってきたが、平成25年4月より①社資の受付と送金に関する事務②地区交付金に関する事務③収支伝票の作成と出納簿への記載④会計処理の業務に限定して区社協が担うこととなった。

（1）日本赤十字社活動への協力

各連合振興町会（赤十字奉仕団）より、日本赤十字社活動資金を預かり、日本赤十字社大阪府支部に送金した。また、日本赤十字社から送金があった、事業費・事務費を活用して、新任町会長に防災服の支給、また各連合振興町会に対して、地域の防災の取り組みで活用するために助成金を交付した。

(2) 能登半島地震災害義援金活動への協力

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災者に対しての義援金活動のため、義援金箱を各所に設置し、協力を呼びかけた。

発災後、令和8年3月までに阿倍野区社協から日本赤十字社（一部は共同募金会へ）に送付した義援金は、計24件、金額は545,890円であった。

6 広報・啓発活動

(1) 区社協だより「えいち」の発行（年2回発行）

第69号発行 9月 51,000部発行【昨年31,000部】

第70号発行 1月 51,000部発行【昨年31,000部】

(2) 区社協ホームページによる情報発信（随時更新）

(3) 賛助会員募集チラシの発行

7 実習生の受け入れ、講師派遣等

本会は、将来の地域福祉を担う人材育成を重要な責務と位置づけ、大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。学生には、住民参加を基本とする本会の幅広い地域活動や、多機関との連携を通じた支援の実験を体験させ、包括的な視点と実践能力の習得を支援した。

(1) 社会福祉士養成ソーシャルワーク実習生の受け入れ

目的等	人数	日程等
大阪公立大学 地域保健学域教育福祉学類 3年生	1	24日間
大阪公立大学 地域保健学域教育福祉学類 2年生	1	8日間
武庫川女子大学 心理・社会福祉学科 3年生	1	24日間
大原医療福祉製菓専門学校通信課程学生	1	24日間
社会福祉施設からの実習生 (南さくら園・ミネルヴァあべの)	6	6日間

(2) 地域看護学臨地実習生（看護師養成現場実習）の受け入れ

目的等	人数	日程等
大阪公立大学 看護学部学生	8	のべ16日間
大阪医専 実践看護学科学生	4	のべ16日間

藍野大学短期大学部 看護師養成専攻科学生	4	のべ	8日間
行岡医学技術専門学校学生	2	のべ	4日間

(3) 各種学習会、研修会等への講師派遣

研修名・内容	主催者	対象者	回数
大阪区民カレッジ	NPO法人大阪区民カレッジ	市民	1

Ⅱ 地域福祉活動支援部門

1 地区社会福祉協議会等の活動支援

(1) 地域活動への主な支援・参加状況

(ア) 地域福祉推進基金助成による活動支援

金額：各地域30,000円。

主に高齢者食事サービスやふれあい喫茶活動で活用いただいている。

地域名	食事サービス	活用方法
高 松	配食	クリスマス会景品・節分用豆菓子ほか
常 盤	会食・配食	誕生日会記念品ほか
金 塚	会食・配食	紅白饅頭、お誕生会生花ほか
文の里	会食・配食	クリスマス会の景品ほか
王 子	会食	喫茶「王子サロン」食事会「だんだんタイム」経費
丸 山	会食・配食	ぜんざい、クリスマス会経費ほか
長 池	会食・配食	ひなまつり弁当の一部負担
阿倍野	ふれあい喫茶	喫茶用品（食器・コーヒーマーカーなど）
晴明丘	会食・持ち帰り	クリスマス会・お正月のお菓子など
阪 南	会食・持ち帰り	みそ汁・フルーツ・お菓子など

(イ) 地区社会福祉協議会会長・地域福祉コーディネーター合同連絡会

日 時 9月17日（水）午前10時～

場 所 あべのボランティア活動センター

出席者 各地区社協会長、各地域福祉コーディネーター

内 容 ・「地域における参加支援について」

講 師 ふくしと教育の実践研修所 SOLA

主宰 新崎国広 氏

・情報交換

(ウ) 地域で実施される研修会等の企画・参画・講師派遣等

「金塚タウンミーティング」への参画

日 時 8月30日（土） 午後3時～

場 所 大阪公立大学看護学科キャンパス

内 容 地域の役員、社協等関係団体が参加しグループワークを通し
勉強会を開催

主 催 大阪公立大学看護学科

「福祉勉強会」の実施

日 時 7月4日（金）午後7時～

場 所 常盤西会館

内 容 「要援護者名簿の概要と活用について」

※常盤地区社協総会後に実施

対 象 常盤地区社協

（エ）住民懇談会（地域福祉ミーティング）の実施

地域での支え合いの体制づくりとして地域住民を主体に区役所や
関係機関と「福祉と防災」をテーマに協働実施

日 時 12月2日（火） 午後2時～

場 所 阿倍野区役所2階大会議室

内 容 基調講演会 「あらいぐま大阪の活動を通じて」

講 師 あらいぐま大阪 代表 篠原氏

地域及び各社会福祉施設の防災の取組紹介

- ・常盤地域まちなか防災訓練の紹介
- ・「障害者支援施設アテナ平和」防災の取組み
- ・「特別養護老人ホームいくとく」防災の取組み

（オ）DREAM DAY at the Zoo（ドリームデイ・アット・ザ・ズー）

障がいのある人とその家族、介助者が動物園の休園日に、ゆっくり
動物園を楽しんでいただくことを目的にした招待イベント。

日 時 3月30日（月） 午前9時～

場 所 天王寺動物園

入園者 4,699人

内 容 ・天王寺動物園職員向け福祉教育の実施

・園内の案内や誘導、手話通訳、パフォーマンス披露等
ボランティアの需給調整

・イベント当日、ボランティア基地の運営

※天王寺動物園、天王寺区社協、阿倍野区社協と協働実施

(2) 地域防災訓練等への参画状況

■常盤地域まちなか防災訓練

防災クイズの実施、災害ボランティアセンターの周知

■晴明丘地域まちなか防災訓練 車いす操作の説明

■阪南地域まちなか防災訓練 車いす操作の説明

■阿倍野地域まちなか防災訓練 車いす体験

■丸山 BOUSAI・パーク

車いす体験・災害ボランティアセンターの周知

■晴明丘親子防災訓練 防災クイズの実施

■AAAin あべの（防災フェア）への参画

車いす体験・災害ボランティアセンターの周知

2 あべのボランティア活動センター

(1) ボランティアの登録

① 個人ボランティア登録人数

	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
登録人数	113人	147人	157人

※令和7年度 ボランティア登録者へ登録の更新確認を実施

③ ボランティアグループ登録数

	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
グループ数	65	70	69

(2) ボランティア活動の需給調整

① ボランティア活動依頼件数 延べ 85件

② ボランティア需給調整人数 延べ 187人

③ ボランティア活動依頼内容

依頼内容	延べ件数
施設でのレクリエーション活動	20件
区役所での子育て講座開催中の乳幼児見守り活動	14件

地域・区役所イベントでのレクリエーション活動	13 件
------------------------	------

(3) あべのボランティア活動センター運営委員会の開催

開催日時 令和7年6月20日(木) 午後2時～3時

開催場所 あべのボランティア活動センター

出席者数 9名

(4) 啓発・広報事業

広報媒体	備 考
あべの ボランティア活動 センターだより	年4回発行 5月550部、8月541部、11月525部、2月527部 (登録ボランティア配付・区民センター・市民学習 センター・各会館等設置)
区社協広報紙 「えいち」	年2回 ポスティングによる全戸配布 9月25日 51,000部 1月31日 51,000部
ホームページ	毎月1回更新

(5) ボランティア養成事業

事業名称	備 考
子育てボランティア 養成講座	令和8年1月20日～2月10日 全4回講座 受講者8名 延31名
こころのボランティア 養成講座	令和8年1月29日～3月2日 全4回講座 受講者7名 延30名
傾聴ボランティア 養成講座	令和8年1月14日～2月4日 全4回講座 受講者16名 延57名



(6) ボランティア交流会の開催

開催日時 令和8年3月23日（月）午後2時～4時

開催場所 あべのボランティア活動センター

参加者数 27名



3 地域福祉講演会の開催

開催日時：令和7年12月12日（金）午前11時～午後1時

午後3時～5時

開催場所：阿倍野区民センター大ホール

参加人数：380名

開催内容：区社協の事業（見守り強化事業、地域包括支援センター事業、認知症初期集中支援事業、生活支援体制整備事業、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業）について説明を行い、事業周知を行った。その後、映画「猫と私と、もう1人のネコ」を上映した。



4 区社会福祉施設連絡会の運営（事務局）

阿倍野区施設連絡会では、阿倍野区内の施設が協働し、地域共生社会の実現に向けて施設の社会化を目指して様々な活動を行っており、平成14年からは、本会が事務局を務めている。令和7年度末加盟施設数は64施設。

日程	活動内容
4月30日	第1回 防災WT（ワーキングチーム） 出席
5月16日	第1回 障がい児・者部会会議 障がい児・者部会 第2回 初任者研修会（阿倍野区社協）

5月19日	「あべのつながりフェスタ」プレ 実行委員会 出席
5月21日	第1回 部会長会議
6月13日	「あべのつながりフェスタ」第1回 実行委員会 出席
6月18日	総会 (参加：32施設/会場28施設、オンライン4施設) 内容：令和6年度事業報告及び会計報告について 令和7年度事業計画及び予算について 等 第1回 連絡会 内容：・情報提供（労働安全衛生関係資料/大阪南労働基準監督署） ・施設連絡会の入退会について ・会費の納入について ・あべのつながりフェスタについて ・ミニ研修 HUG（避難所運営ゲーム） 社会福祉施設バージョン体験会
6月20日	第2回 障がい児・者部会会議 第3回 初任者研修（四天王寺さんめい苑）
6月27日	第2回 防災WT（ワーキングチーム） 出席
7月11日	「あべのつながりフェスタ」第2回 実行委員会 出席
7月18日	第3回 障がい児・者部会会議 第4回 初任者研修（茶来）
8月 4日	「あべのつながりフェスタ」プレ会議 出席
8月 7日	第2回 連絡会 内容：・あべのつながりフェスタについて ・パンフレットの作成について
8月 8日	「あべのつながりフェスタ」第3回 実行委員会 出席
8月22日	第4回 障がい児・者部会会議 第5回 初任者研修（みどり教室）
9月12日	「あべのつながりフェスタ」第4回 実行委員会
9月17日	第3回 阿倍野区防災ワーキンググループ会議 欠席
9月19日	第5回 障がい児・者部会会議 第6回 初任者研修（あべの作業所） 障がい児・者部会交流会
9月26日	第3回 連絡会 内容：・あべのつながりフェスタについて ・パンフレットの作成について
10月10日	「あべのつながりフェスタ」第5回 実行委員会
10月25日	地域福祉推進イベント「あべのつながりフェスタ」「福祉施設 バル」 絵画展「みんなのかいがてん」（11/28～12/24）
11月20日	第4回 防災WT（ワーキングチーム） 欠席

1 2 月 2 日	阿倍野区地域福祉ミーティング 出席
1 2 月 3 日	第2回 部会長会議
1 2 月 4 日	「あべのつながりフェスタ」ふりかえり会議
2 月 6 日	一水会・区社会福祉施設連絡会合同学習会 出席
2 月 7 日	高齢者部会 交流会
3 月 1 9 日	福祉施設における虐待防止研修 (参加：会場5名、オンライン6施設) 第3回 部会長会議 ★パンフレット「あべのつながりマップ」発行

5 阿倍野区キャラバン・メイト連絡会の運営支援

(1) 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症と認知症の人について正しく理解し、本人や家族を温かい目で見守る「応援者」を養成した。

認知症サポーター養成講座・認知症勉強会の開催(延べ19回・189名参加)

	日程	対象者	開催場所	参加人数
1	4月10日 (木)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	社会福祉法人育徳園・ マゼルバ	18名
2	5月15日 (木)	スーパー従業員	イトーヨーカドーあべの店	12名
3	5月19日 (月)	金融機関職員	大阪信用金庫 本店営業部	15名
4	5月23日 (木)	デイ・グループ ホーム職員ほか	認知症対応型デイ たのしいデイ帝塚山	14名
5	5月27日 (月)	金融機関職員	大阪厚生信用金庫 阿倍野支店	4名
6	5月28日 (火)	金融機関職員	大阪厚生信用金庫 阿倍野支店	3名
7	5月30日 (木)	金融機関職員	大阪信用金庫 生野支店	5名
8	6月2日 (月)	金融機関職員	大阪厚生信用金庫 西田辺支店	4名
9	6月5日 (木)	金融機関職員	大阪信用金庫 勝山支店	16名
10	7月8日 (火)	幼稚園・保育園連携 型こども園保護者・ 職員	むつみこども園	3名
11	7月17日 (木)	スーパー従業員	イトーヨーカドーあべの店	7名

12	7月25日 (金)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	社会福祉法人育徳園・ マゼルバ	7名
13	9月3日 (水)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	特別養護老人ホーム 阪和苑	11名
14	9月11日 (木)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	阿倍野区役所	24名
15	10月24日 (金)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	認知症対応型デイ たのしいデイ帝塚山	8名
16	11月6日 (木)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	阿倍野区社会福祉協議会	15名
17	11月12日 (水)	スーパー従業員	イトーヨーカドーあべの店	3名
18	11月29日 (土)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	社会福祉法人育徳園・ マゼルバ	4名
19	2月20日 (金)	認知症に関心があり 理解を深めたい方	阿倍野区社会福祉協議会	16名
	合 計			189名

(2) 阿倍野区キャラバン・メイト連絡会の開催

キャラバン・メイトは、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務めるための研修を修了したボランティアメンバーであり、認知症の理解を広めるため、「認知症サポーター養成講座」を企画・開催した。区社協は事務局として後方支援を行った。奇数月に連絡会を開催。

■開催場所：阿倍野区社会福祉協議会 ■キャラバン・メイト登録者数45名

日程	活 動 内 容	備 考
年5回	連絡会開催	5・7・9・11・3月開催
11月	「見守り声かけ体験」 共催	常盤地域・松崎第1住宅 集会所
1月	区認知症施策推進会議	会代表が出席
3月	「見守り声かけ体験」 共催	晴明丘地域 参加30名
3月	「見守り声かけ体験」 共催	常盤地域 参加35名
3月	「若年性認知症の理解 を深める講演会」共催	3月の連絡開催時に同時開催(共催実施)

6 子育て支援と青少年、児童、障がい者（児）のための福祉活動支援

(1) 子育て支援連絡会への参画

(2) 子育てボランティア養成講座の開催

実施日程：1月20日（火）～ 2月10日（火）全4回

(3) ミニニュース発行（隔月1日発行）

(4) 「あべのつながりフェスタ（あべの親子フェスタ）」開催

(5) フードパントリーの開催

第7回 5月26日・27日 13団体参加

第8回 12月11日・12日・15日 20団体参加

子どもの居場所等を開催している団体へ、福祉善意銀行やフードドライブでご寄付いただいた食材等やテーマ型募金を活用して購入した食材を提供する機会を設けた。

(6) 「阿倍野区こどものいばしょ連絡会（ばしょれん）」に事務局として参画

5月7日 阿倍野区長と面談

5月27日 「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」総会・第1回連絡会開催

6月17日 阿倍野区小学校校長会へ出席

8月17日 「つながる2025 in あべの」阿倍野区PTA協議会と共催

9月16日 「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」中間振り返り会開催

10月13日 「あべのカーニバル」参画（紙プロペラづくり）

10月25日 「あべのつながりフェスタ」参画（こどものいばしょ情報コーナー・相談ブース）

11月18日 第2回「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」開催

2月24日 「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」交流会開催

「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」パンフレット発行

3月17日 第3回「阿倍野区こどものいばしょ連絡会」開催

4月17日、5月7日、6月10日、3月27日 役員会開催、

【加入団体一覧】24団体加入（敬称略・順不同）

トキワの森/トーキョーコーヒー大阪あべの/あべの不登校児・軽度発達障がい児支援グループ スペースゆう/フリースクール「ラヴニール」/地域の居場所 四つ葉/ようこそおかえり食堂/NICO/晴明丘地域活動協議会（ボランティアグループ「みんなの食堂」・めばえkitchen晴明丘）/陽だまり/NPO法人ろーた

す/望之門学童クラブ/一般社団法人ライフキャリア教育ラボ/大吉堂/NPO法人 yucoco/ときわこども食堂/育徳園子どもの家/NPO法人あゆみらいず/あべのこどもプレイス/駄菓子屋ぎんちゃん/こども企画いーすた/母子支援施設南さくら園/フリースクール ひみつきちHATOB A/みんなの図書室ほんむすび/BOOK' N BOOTH

(7) おもちゃ図書館事業

・開館日 : 毎月第2・4土曜日

年間参加人数及び開館回数(参加人数にはボランティアを含む)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
参加人数	177	282	279
開館回数	22	21	22

7 福祉教育の推進

阿倍野区内の学校や企業、団体と協力し、福祉への理解を深める講座を開催。

日程	対象	内容	人数
9月10日 9月18日	阿倍野小学校 (3年生)	・手話体験・点字体験	101
10月16日	晴明丘南小学校 (3年生)	・車いす体験・高齢者疑似体験	42
10月22日	高松小学校 (3年生)	・視覚障がい当事者の講話	81
10月29日	高松小学校 (5年生)	・車いす体験・ロービジョン体験	88
11月20日	阿倍野小学校 (4年生)	・車いす体験・白杖手引き体験	50
12月10日 12月11日	常盤小学校 (2年生)	・車いす体験・白杖手引き体験	197
12月18日	桃山学院中学校 (2年生)	・車いす・白杖手引き体験	123
2月12日	苗代小学校 (3年生)	・ボッチャ体験	102
3月9日	天王寺動物園 (職員・ボランティア向け)	・障がいのある方への支援、車いすの利用者への配慮 ・発達障がいのある子どもへの配慮	23
3月11日 3月17日	阿倍野中学校 (2年生)	・視覚障がい当事者の講話、白杖手引き体験、車いす体験	142

<協力団体> 社会福祉法人育徳園(阿倍野区北部地域包括支援センター、ブランチ、いくとくⅡ)、阿倍野区中部地域包括支援センター、みどり教室、たのしい

家帝塚山、たのしいデイ帝塚山、グランオアシス帝塚山、阿倍野区聴言障がい者協会

＜ボランティア団体＞ 阿倍野点訳グループ「トントン」、手話サークル桜花、ポッチャあべの

8 災害時に備える地域福祉活動への支援

■災害ボランティアセンター開設訓練

- ① 令和7年11月14日（金）会場：区社協2階ボランティア活動センター

区社協職員を対象に「阿倍野区の被災想定と区災害対策本部との連携について」を阿倍野区役所市民協働課の方に、「災害ボランティアセンターとは」を区社協職員が説明、「ニーズ受付訓練」を全員で行った。



- ② 令和7年11月26日（水）

災害ボラセン開設場所となる阿倍野区民センター地下1階小ホールを使用し、区社協職員（地域福祉コーディネーターを含む）で「ボランティア役」と「災害ボランティアセンタースタッフ役」に分けて、会場設営・「ボランティア受付」・「マッチング」及び区市民協働課と連携しトランシーバーを使用し、連絡調整の訓練を行った。また、ボランティア役で地域の防災リーダーにも参加いただいた。



■阿倍野区地域・避難所連絡会議への参画（主催：区役所）

- ・令和7年4月25日（金）午後7時～ 区役所にて

【議題】 令和7年度阿倍野区防災事業計画について
大規模災害時等の緊急連絡系統について
災害時避難所鍵保管者の確認等について
各地域と避難所施設管理者との意見交換

■福祉避難所・緊急入所施設連絡会議への参画（主催：区役所）

区が実施する会議へ参画し、区内の福祉施設と情報共有を行った。

- ・令和7年6月25日（水） 各施設における防災の取組について
MCA無線訓練
・令和8年1月28日（金） MCA無線訓練のふり返りについて

福祉避難所の開設を想定した課題共有

■市・区社協合同災害訓練の実施

大規模災害を想定し、市・区社協合同災害対策本部設置訓練を実施しました。

- ・令和7年12月23日(火) 住民からの問合せ対応について。数種の付与に基づき対応を考慮する訓練

9 地域福祉行動計画・地域福祉計画の推進

【あべのつながりフェスタ開催】

区役所全体と区内福祉施設を会場に実施予定であった阿倍野区内の福祉施設の周知を兼ねたイベント「あべの福祉施設バル」を区内の各施設が様々な趣向を凝らして来場者に楽しんでもらえました。子育て支援連絡会が中心となって企画「あべの親子フェスタ」、あべのボランティア活動センターの登録ボランティアグループが発表を行う「あべの愛の広場」などの企画を実施した。

実施日時：10月25日（土）

午後1時～3時半

実施場所：阿倍野区役所、区内福祉施設



令和7年度のつながりフェスタ開催の様子

■実行委員関係団体（順不同・敬称略）

阿倍野区作業所連絡会／阿倍野区社会福祉施設連絡会／阿倍野区役所／阿倍野区子育て支援連絡会／阿倍野区郵便局長会／阿倍野区居宅介護支援事業者連絡会

■あべの施設バル参加施設（順不同・敬称略）

デイサービスセンターあこがれ／特別養護老人ホームいくとく／四天王寺さんめい苑／三明保育園／ココファン阿倍野／阿さひ保育園／阿倍野保育園／望之門保育園／マナ乳児保育園／ナルド夜間保育園／ココファン文の里／ワークスペース街（マーチ）／やまき・あべの苑／子ども子育てプラザ／平和寮／シルフ／カームの家北畠／デイサービスセンターいくとくⅡ／茶来／ホームランドあべの／育徳園保育所／育徳園子どもの家／育徳コミュニティセンター／にしたなべ太陽保育園／デイサービス笑楽西田辺／グループホーム笑楽北畠／パナソニックエイジフリーケアセンター大阪帝塚山

■あべの愛の広場に参加した団体・ボランティアグループ等（順不同・敬称略）

阪南民舞同好会／楽笑／桃ヶ池ハーモニー／あべの太極拳サークル「パンダ」／フルートアンサンブルあんだんて／姫松朗読勉強会／ハッピーロードあべの／喫茶「すずらん」／個人ボランティア（バルーンアート・イベントサポーター）

■その他運営に協力いただいた団体等（順不同・敬称略）

10 車いす貸し出し事業（貸し出し拠点愛称：車いすステーション）

本会の福祉善意銀行に寄付された車いすを活用し、阿倍野区内に在住・在勤の方を対象に、必要に応じて無料で車いすの貸し出しを行った。

また、南北に広い阿倍野区の区民の利便性を図るため、区内の福祉施設、地域の会館、学校等に貸し出し拠点「車いすステーション」として車いすの貸出のご協力をいただいている。



令和7年度 貸し出し実績

車いすステーション	貸し出し件数
区社協	174件（6年度：88件）
各地域の会館等（19か所）	189件（6年度：181件）
学校（13校）	68件（6年度：65件）
区内の社会福祉施設（16施設）	188件（6年度：110件）
計 48ステーション	619件（6年度：444件）

令和7年度 車いすステーションの増減

・新たにご協力いただいた拠点（4拠点）

常盤連合振興町会 常盤文化会館、阪南播磨公園運営会

阿倍野区北部地域包括支援センター、特別養護老人ホームいくとく

・休止または設置終了された拠点（2拠点）

休止：福祉型障害児入所施設 平和寮（施設建替えのため）

終了：デイサービスセンターあこがれ（施設閉鎖のため）

【参考】区社協での車いす貸し出し理由と年代の内訳

貸し出し理由	6年度	7年度
ケガ・病気	50	79
介護	9	50
旅行・観光	4	16
万博		23
その他	21	5
不明	1	1
計	85	174

年代	6年度	7年度
19歳以下	11	22
20-39歳	5	6
40-59歳	5	24
60-69歳	9	20
70-79歳	13	36
80-89歳	24	44
90歳以上	16	16
不明	2	6
計	85	174

1.1 緊急時食料等給付事業

阿倍野区内在住で、生活困難に陥っている方に対し、生活に必要な食料等の現物を給付することにより、自立して生活できる機会の提供を行った。

実績：48件（仕事・生活・自立相談あべの43件・見守り相談室5件）
（令和6年度 38件）

1.2 オンラインを活用したつながりづくり

阿倍野区内の地域福祉コーディネーターの拠点にインターネット環境を整備・維持するため、1地域ごとに年間8万4千円の費用助成を行った。

1.3 生活支援体制整備事業

（1）地域資源の創出支援状況

●新規立ち上げ・事業継続支援

地 域	活動名称	目 的	内 容
高松	高松健康麻雀同好会（金曜日クラス）	・閉じこもりを防ぎ、介護予防に繋げる ・地域住民同士の交流	地域より既存の火曜日クラスの他に、新たな曜日での活動立ち上げの相談を受ける。立ち上げにかかる助言や周知を協力し、主催者を中心に継続した活動となる。
阿倍野	女の健康麻雀	・閉じこもりを防ぎ、介護予防に繋げる ・地域住民同士の交流	地域内の健康麻雀が男性限定のため、女性が参加できる場の立ち上げの相談を受ける。周知・体験会の実施に協力し、継続した活動となる。
長池	ボッチャ3・4	年齢問わず、地域住民同士の交流	マンションの集会所を活用し、町会加入者向けに年齢問わず交流できるボッチャを実施したいとの相談を受ける。体験会の実施、周知を支援。現在は月1回活動を継続している。

●講座・イベントの開催

① 第3期スマホボランティア養成講座

日 時：令和7年6月3日(火)、10日(火)、17日(火)、24日(火)
午前10時～午後1時

場 所：阿倍野区在宅サービスセンター
 講 師：株式会社 RegalCast 児島拓也 氏
 参加者：18名

② ボッチャスキルアップ講座

日 時：令和7年8月28日(木)、29日(金)

午後1時30分～3時30分

場 所：阿倍野区在宅サービスセンター

講 師：大阪発達総合療育センター 南大阪小児リハビリテーション病院
 運営局局長 梶浦正 氏

日本ボッチャ協会強化指定選手 中村拓海 氏

参加者：13名

③ 「令和7年度ボッチャだよ全員集合！！あべの大会」

日 時：令和7年11月11日(火) 午後1時30分～4時

場 所：阿倍野区区役所2階 大会議室

参加者：36名、見学者：14名、ボランティア：10名

●その他の取り組み

取り組み	目 的 ・ 内 容	活動状況
「阿倍野区集いの場マップ」発行	会館を中心とした「高齢者の集いの場」の情報をまとめて発信。包括・ブランチなど関係機関と協力して作成。	年1回更新（6月末発行） 地域別に発行（10種類） 各1,500～2,500部発行
情報誌「あべちょこ」発行（地域資源紹介）	地域の集いの場や役立つ情報、活動者の紹介やコラム等を地域住民に発信する。	年4回（4月・9月・11月・2月） 各2,000～3,500部発行
あべの健康づくり貸し出し事業	地域の居場所活動の立ち上げる際に必要となる備品の貸し出しを行う。	・健康麻雀（卓・牌） ・ボッチャ（コート・ボールセット）

(2) 第1層協議体「令和7年度地域福祉ミーティング」

日 時：令和7年12月2日(火)午後2時～4時

場 所：阿倍野区役所 2階大会議室

内 容：「福祉と防災」について

参加者：69人



1.4 大阪市介護予防教室(なにわ元気塾)事業 <単年度ごと公募による受託>

65歳以上の阿倍野区在住の高齢の方が、要支援、要介護状態になることをできる限り予防し、自立した活動的な生活を送るため、月に1回、地域の会館にて「介護予防教室」を開催した。

地域別のべ利用者数

※ () : 昨年度の利用者数

高 松	常 盤	金 塚	文の里	王 子	計
55 (82)	171 (181)	140 (88)	193 (184)	73 (73)	1,392 (1,328)
丸 山	長 池	阿倍野	晴明丘	阪 南	
230 (226)	103 (98)	132 (104)	95 (99)	200 (193)	

Ⅲ 生活支援担当部門

1 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業【見守り相談室】

＜単年度ごと受託＞

地域における見守りのネットワークを強化し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、次の３つの取組みを実施した。

(1) 機能１ 要援護者名簿にかかる同意確認・名簿整備

災害時等に支援が必要と思われる方（要援護者）に対し、見守り活動のための地域への情報提供にかかる同意確認を行い、同意が得られた要援護者の情報を協力団体に提供し、災害時のみならず平時の見守り活動に活用いただいた。

① 「要援護者名簿登録のお願い」文書の送付件数 ８９７件

(令和６年度 ４６３件)

② 訪問件数 ５６４件

うち 同 意 １９３件 (令和６年度 １０３件)

不同意 ２３２件 (令和６年度 １２８件)

(2) 機能２ 孤立世帯等への専門的対応

制度の狭間の事例、サービスにつながない事例、ごみ屋敷、ひきこもり等複合的な課題を抱える世帯等への見守りや解決に向け、ＣＳＷ（コミュニティソーシャルワーカー）による専門的な支援を実施。

相談・支援者実人数			３９２
内 訳	要支援者の年齢	０～６歳	０
		７～３９歳	１８
		４０～６４歳	５８
		６５歳～	２７８
		不明	３８
	要支援者の 主な種別	要介護・要支援の高齢者	１８８
		要支援・要介護以外の高齢者	６６
		身体障がい者・児	４
		知的障がい者・児	３

	精神障がい者・児	1 1
	発達障がい者・児	0
	難 病	0
	生活困窮	7 4
	子育て中の保護者	2
	その他	4 4

相談支援（内容）	件数
ア 経済・生活問題に関する事	7 5 3
イ 福祉サービスに関する事	8 6 0
ウ 保健・医療サービスに関する事	9 3
エ 介護に関する事	4 6 4
オ 子育てに関する事	5
カ 就労に関する事	5 3
キ いきがいつくりに関する事	6 1
ク 虐待に関する事	1 9
ケ 家族・家庭問題に関する事	8 5
コ 見守り訪問	4 3 1
サ ごみ屋敷	1 8 7
シ その他	2 3 8

(3) 機能3 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

及び阿倍野区SOSネットワーク事業「あべのあんしん見つけ隊」

発生件数	3件（令和6年度：7件） 内訳：高齢者 3件（令和6年度：7件）
結果・ 終結理由	解決：3件（令和6年度：7件） 終結理由：警察で保護された3件（令和6年度：6件） 自分で帰宅された0件（令和6年度：1件） 協力者が発見された0件（令和6年度：0件）

協力機関	328機関（内：民生委員98名・地域団体9件） （令和6年度：360機関） （民生委員児童委員協議会・医師会・薬剤師会・金融機関・ 郵便局・福祉施設・行政機関等）
年度末 登録者数	162件（令和6年度：160件）

（４）見守り声かけ訓練の実施

認知症等による行方不明者が後を絶たない中、道に迷っていると思われる方に声をかけ、社協や警察など適切な機関につなぐ訓練を行った。今年度は地域に所在する福祉施設の職員にも協力を得た。

日時	場所	参加者数
11月7日（金）	松崎第一住宅（常盤地域） ※住民参加型モデル実施	地域住民25名、関係者13名
3月5日（木）	晴明丘地域	地域住民14名、関係者16名
3月9日（月）	常盤地域	地域住民22名、関係者13名

関係者：地域包括支援センター、オレンジチーム、地域福祉コーディネーター、キャラバンメイト連絡会、福祉施設（阪和苑／プラウドコート晴明通／たのしい家帝塚山／パナソニックエイジフリーケアセンター大阪帝塚山／グランダ帝塚山）、阿倍野区役所



2 生活困窮者自立相談支援事業 【愛称：仕事・生活・自立相談 あべの】

＜令和7年度より令和9年度まで業務受託＞ ※区役所1階7番窓口で実施
生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前のセーフティネットの強化を図るために、生活困窮者に対して住居確保給付金の支給など、一人ひとりに合わせた様々な支援を行うことを目的として実施した。

昨今の物価高騰の影響により、経済的困窮に関する相談件数は高止まりの傾向にある。特に、新型コロナウイルス特例貸付のフォローアップ支援事業による、生活福祉資金貸付担当との連携やアンケート結果に基づくアウトリーチが増加した。これらに対し、関係機関と密接に連携しながら、個々の状況に応じた支援を継続的に行った。

また、令和7年度の顕著な傾向として、SNS等の情報を契機に住居確保給付金制度を知り、窓口を訪れる退職後の若年層が増加した。支給要件に合致せず申請に至らない事例も一定数存在したが、積極的な周知を行ったことで相談してもらうきっかけとなった。引き続き、制度の正確な周知とともに、要件外となった相談者に対しても他の支援策を検討するなど、丁寧な相談対応を行う。

(1) 相談受付・申し込み数

	7年度	6年度
新規相談受付件数 【本人同意なし含む】	411	489
支援決定・確認件数 【再プラン含む】	48	71
就職決定者件数 【増収含む】	11	20
アウトリーチ（訪問支援） 【関係機関等訪問含む】	42	79

(2) 周知活動・事業周知

- ・チラシ配布・周知活動：町会掲示板にポスター掲示の依頼（区内掲示板50か所）、あべのカーニバル、あべのつながりフェスタにてチラシ配布

- ・事業説明：民生委員・児童委員及び主任児童委員研修会 2 回、地域福祉コーディネーター連絡会、区役所新規採用職員（生活保護）研修、つながる場・生活困窮自立相談支援事業合同職員研修、阿倍野区地域福祉講演会
- ・X（旧ツイッター）事業周知、ウェットティッシュ配布
- ・阿倍野区社協だより「えいち」70号事業案内掲載、広報あべの（5月号・11月号）事業案内掲載

（３）弁護士相談

窓口で実施 4回（5月、8月、11月、2月）

（４）関係機関との連携会議

- ・子ども自立アシスト事業支援の変更のお知らせと連携検討会議
- ・NPO 法人志塾フリースクールによる子ども自立アシスト事業の事業内容説明会
- ・支援調整会議 月 2 回
- ・生活困窮者自立支援事業・生活福祉資金貸付事務事業・見守り相談室情報共有会議 毎月 1 回
- ・支援会議 年 1 回
- ・阿倍野区役所子育て支援室 情報共有会議 適宜
- ・総合的な相談支援体制の充実事業「つながる場」 適宜

（５）住居確保給付金について

令和 7 年度は 13 件の申請があり、うち 12 件支給決定となり、生活困窮の緩和につながった。申請者は支援プランとして、就職活動も行うが、総合就職サポート事業やハローワークナビといった窓口と密に連携し、就職につなぐことができた。

（６）家計改善支援

令和 7 年 4 月 1 日からはじまった住居確保給付金(転居費用補助)は、家賃が安い住宅に転居することで家計が改善することを認められることが要件となる。申請者が 3 件支援することで、給付決定となり、生活

困窮の緩和につながった。

(7) 就労支援

住居確保給付金の要件としての就職活動や就労単独での相談を含め相談者の就職活動の他、総合就職サポート、ハローワークナビを活用するなどして、令和7年度は27名の就労支援対象者のうち、11名の就業が決定した。

(8) 子ども自立アシスト事業

中学生3年生を中心とする中学生のいる世帯を対象に、子ども自立支援員が高校進学に向けた進路のことや日常生活、学習の相談にのり、子どもの健全育成と社会的自立を目的に実施。

令和7年度は13名（中学2年生：3名、中学3年生：6名、高校世代：4名）の支援を行った。

(9) その他

- ・阿倍野区社協内にサテライト窓口の設置
- ・フードドライブ（フードバンク事業）

地域住民の理解を得て善意銀行にて食糧寄付として、日常的な受け付け体制を維持している。この機能により、緊急的な食糧支援への柔軟な対応が可能となり、生活困窮の緩和に寄与している。

- ・生活困窮者への個別食料提供105件（再掲）

- ┌ 緊急食糧等提供事業 43件
- └ フードパントリーによる食料支援 62件

経済的理由等により支援を必要とする世帯を対象に、テーマ型募金「食を通じた生活困窮者をつながりづくり」を活用して実施した。地域の掲示板、「広報あべの」、イベントでのチラシ配布等で周知を図り、申し込みのあった方に対してはプライバシーに配慮し、予約制で相談受付を行い、当日は食料提供に加え、現在の困りごとに関する相談受付とヒアリングを実施。後日の継続的な相談支援へとつなげる体制を構築した。

9 生活福祉資金貸付事務事業

＜単年度ごとに受託＞

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする貸付の受付事務を行った。

令和7年度は、教育支援資金の相談はあるものの申請数は少なかった。一方で、冷暖房器具などの生活必需品の購入を目的とした福祉費に関する相談は例年どおり多く寄せられた。特に年度末にあたる2月から3月にかけては、緊急小口資金への問い合わせが集中した。

のべ相談件数 窓口：76件 電話：610件

生活困窮者自立支援相談窓口へのつなぎの件数 35件

相談件数 131件 貸付決定件数 29件 ()は決定件数

相談内容	相談総数	決定件数
【総合支援資金】 6件(0件)		
生活支援費	3	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
【福祉費】 68件(19件)		
生業を営むために必要な経費	4	2
技能習得に必要な経費及びその期間中の生計を維持するために必要な経費	1	0
住宅の増改築、補修等及び公営住宅の譲り受けに必要な経費	1	0
負傷または疾病の療養	7	0
介護・障害サービス等を受けるのに必要な経費及び期間中の生計を維持するために必要な経費	2	0
障がい者用自動車の購入に必要な経費	5	0
冠婚葬祭に必要な経費	2	0
住居の移転等、給排水設備等の設置に必要な経費	5	0
その他日常生活上一時的に必要な経費(必需	21	19

品費)		
緊急小口資金	6 8	6
【教育支援資金】 1 7 件（4 件）		
教育支援費	1 4	4
【不動産担保型生活資金】 リバースモーゲージ 1 件（0 件）		
不動産担保型生活資金	1	0
合 計	4 6	2 9

コロナ特例貸付 生活困窮者世帯フォローアップ支援事業

（集計対象期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日）

2 0 2 3 年(令和 5 年)より償還(借入金の返済)がはじまり、償還にお困りの方からの償還猶予や少額返済、免除申請についての相談を受け付けている。

令和 7 年度は、フォローアップ支援対象者を、償還を免除された層から償還中の層、そして滞納中の層まで多岐にわたる属性に分類し、架電やアンケート及びチラシの送付を通じて状況の把握を行い、必要な手続きを案内した。

また、生活困窮者自立支援窓口と連携し、他制度への案内やフードパントリーの実施など包括的な相談支援を行った。

属性	ステータス詳細	人数（人）	対応など
A	償還免除者	9 4 0	アンケート送付 9 4 0 通
B	償還完了者	3 6 5	・ チラシ送付 1, 0 4 5 通 ・ 住所変更・ 猶予申請・ 免除申請 ・ 生活困窮者自立支援窓口と連携 ・ フードパントリー 1 3 件 ・ 架電・ メールフォーム相談 4 件
C	順調償還中	2 4 9	
D	償還猶予中	1 2 4	
E	滞納中：応答あり	4 1 0	
F	滞納中：未応答	4 1 8	
G	滞納中：行方不明	2 8 0	

4 日常生活自立支援事業 【愛称：あんしんさぽーと】

高齢や障がいにより、一人では日常の生活に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や重要書類等の預かり・保管などの支援を通して、高齢者や障がいのある方等の権利擁護を図った。

(1) 利用・相談件数

() は令和6年度

	月末利用件数					相談件数 (訪問・電話)
	高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計	
4月	12 (18)	10 (9)	9 (10)	0 (0)	31 (37)	84 (97)
5月	12 (17)	10 (8)	9 (10)	0 (0)	31 (35)	76 (108)
6月	12 (18)	10 (8)	8 (10)	0 (0)	30 (36)	73 (88)
7月	11 (18)	10 (8)	8 (10)	0 (0)	29 (36)	75 (122)
8月	11 (18)	10 (8)	8 (9)	0 (0)	29 (35)	73 (120)
9月	12 (17)	10 (8)	8 (9)	0 (0)	30 (34)	65 (138)
10月	10 (17)	10 (8)	8 (9)	0 (0)	28 (34)	88 (126)
11月	10 (14)	10 (8)	8 (9)	0 (0)	28 (31)	87 (102)
12月	10 (14)	10 (10)	8 (9)	0 (0)	28 (33)	82 (73)
1月	10 (13)	10 (10)	8 (9)	0 (0)	28 (32)	80 (94)
2月	10 (12)	11 (10)	9 (9)	0 (0)	30 (31)	85 (81)
3月	10 (12)	10 (10)	10 (9)	0 (0)	30 (31)	70 (95)
						計 939 (1244)

(2) 契約・終了件数

() は令和6年度

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	計
新規	2 (3)	2 (10)	2 (0)	(0)	6 (4)
終了件数	3 (7)	1 (1)	1 (1)	(0)	5 (9)

※終了理由内訳：死亡2、後見2、転出0、本人希望1

5 あべの 安全・安心 見守り、支え合い隊事業

＜阿倍野区地域福祉推進事業 単年度ごと受託＞

阿倍野区内の地域見守りボランティア活動の育成と推進や、要援護者の個別支援のための連絡調整を行い、地域内の支え合いのネットワークづくりを行うため、地域福祉コーディネーターを地域ごとに1名配置。

(1) 地域福祉コーディネーター連絡会（原則、毎月第1水曜開催）

月	連絡会開催内容
4月	令和7年度 区社協新体制について 令和7年度 地域福祉コーディネーターの各種会議への参加について
5月	令和7年度「見守りサポーターフォローアップ研修」の開催について 「多職種連携認知症支援のための事例検討会」について
6月	個人情報の保護と管理について、「仕事・生活・自立相談あべの」について、総合的な相談支援体制の充実事業「つどいの場」について
7月	「つどいの場マップ」の配布について 生活福祉資金冷房器具の生活必需品購入費用の貸付について
8月	災害ボランティアセンター開設訓練にかかるボランティアニーズの作成について、「つながる2025 in あべの」について
9月	福祉教育について、阿倍野区アルツハイマーデープロジェクトについて 地区社会福祉協議会会長会・地域福祉コーディネーター連絡会 テーマ「地域における参加支援について」
10月	2025「赤い羽根共同募金運動」について、職員人権研修「福祉現場における家族や保護者からのカスタマーハラスメント等への対応」
11月	阿倍野区地域福祉講演会の開催について（事業紹介・映画上映） 阿倍野区災害ボランティアセンター開設訓練について
12月	フードパントリー（個人向け）の開催について 赤い羽根共同募金「令和7年度阿倍野区テーマ型募金」について
1月	「こころの病をもつ人と共にボランティア養成講座」、職員全体研修「コンプライアンス研修」及び「合理的配慮の理解」について
2月	地域福祉活動の推進及び区社会福祉協議会への評価アンケートの実施について、見守り声かけ訓練（常盤・晴明丘）の開催について
3月	職員人権研修「成人期の発達障がいの理解と特性に沿った支援」について、要援護者名簿の更新について、「福祉相談会」の開催について

(2) 地域福祉コーディネーター活動実績

① 連携調整会議等への出席状況

地域ケア会議	30 件
地区社会福祉協議会 地域活動協議会	56 件
各団体の会議	241 件

② 相談援助活動

個別訪問/個別援助	893 件
相談（電話・来所）	1,541 件
関係機関との連絡調整	2,115 件

③ 地域福祉活動への支援

食事サービス	130 件
ふれあい喫茶	144 件
なにわ元気塾	117 件
親子のつどい	71 件
ミニ・デイサービス	72 件
その他の地域活動	949 件

④ 要援護者名簿新規登録者数 63名（令和6年度：83名）

ひとり暮らし等で、災害時の避難が不安な方等を対象に、要援護者名簿への登録をすすめ、地域での見守り活動につないだ。

⑤ 見守りサポーターフォローアップ研修 参加者数：136名

共 催：阿倍野区老人クラブ連合会

開催日時：7月29日（火）午後2時～4時

開催場所：阿倍野区民センター小ホール

Ⅳ 相談支援担当部門

1 地域包括支援センター事業 <令和6年度～11年度公募による受託>

※担当地域：長池地域・清明丘地域・阪南地域

(1) 総合相談

相談人数および件数

種別	延べ件数		実人数	
	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度
訪問による相談	1,374	1,320		
電話による相談	5,390	6,318		
来所による相談	562	694		
その他	71	84		
合 計	7,397	8,416	910	873

相談内容別件数

種 別	延べ件数
家族・家庭問題	282
経済・生活問題	1,808
介護サービスに関すること	2,529
介護予防サービスに関すること	1,540
介護予防・日常生活支援総合事業に関すること	36
福祉サービスに関すること	143
保健・医療サービスに関すること	648
虐待に関すること	252
成年後見制度の活用	53
生きがいづくり	40
その他	66
合 計	7,397

(2) 地域におけるネットワーク構築業務

○会議等の開催および参加

種 別	年度内累計
ブランチ連絡会議	12回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	49回
その他ネットワーク構築のための会議開催、参加	125回
サービス利用調整会議（レビュー会議含む）	33回
区地域包括支援センター運営協議会	3回
地域との関係づくり	9回

（３）権利擁護業務

○高齢者虐待に関する啓発

ア 市民向け高齢者虐待防止講演会（３包括共催）

日 時 １１月８日（土）午後２時～３時３０分

場 所 阿倍野区民センター 大ホール

内 容 講義「みんなで防ごう高齢者虐待」

講師：阿倍野区保健福祉センター

参加者 ２９６人

イ 令和７年度 阿倍野区障がい者・高齢者虐待防止連絡会議（共催）

日 時 １０月２９日（水）午後２時～３時３０分

場 所 阿倍野区役所 大会議室

内 容 令和６年度 阿倍野区障がい者・高齢者虐待対応報告

講義「虐待とは何か。～障がい者・高齢者が安心して生活できる環境を目指して～」

講師：大阪社会福祉士会 田村 満子氏

参加者 ５３人

○認知症高齢者等支援（区認知症施策を推進する会議に参画・講演会協力）

種 別	年度内累計
認知症ネットワーク推進会議（あべのあいあいねっと）	6回
認知症初期集中支援推進事業関係者会議	3回
地域課題検討・取り組みの実施に向けた会議	1回

○圏域内認知症講演会の開催

「若年性認知症の理解を深める講演会」

日 時 3月12日（木）午後2時～3時30分

場 所 阿倍野区社協2階ボランティア活動センター

講 師 NP0 法人認知症の人とみんなのサポートセンター 代表 沖田 裕子氏
若年性認知症当事者グループ「タック」

参加者 31人

（４）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○地域ケア会議の推進

種 別	年度内累計
地域ケア会議（個別ケースの検討）	3回
地域ケア会議（事例検証：ふり返し）	0回
地域ケア会議（見えてきた課題のまとめ）	16回
地域ケア会議（自立支援型検討会議・小会議）	19回
地域ケア会議以外の個別ケース会議	1回

○介護支援専門員への後方支援

種 別	年度内累計
介護支援専門員個別相談件数	1,281件
居宅介護支援事業者連絡会	11回
介護支援専門員への研修会	4回

（５）指定介護予防支援・第1号介護予防支援

自立支援の視点に立ち、多様な地域の社会支援を活用したケアプランの提案など、介護予防の理念を踏まえたケアマネジメントを行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理総件数	550	540	550	541	550	541	540	551	541	541	531	532	6,508
一部委託	504	494	508	498	507	499	497	506	496	497	489	489	5,984

(6) 在宅医療・介護連携の推進

種 別	年度内累計
阿倍野区在宅医療・介護連携推進会議	1 回
阿倍野区在宅医療・介護連携推進会議 実務者部会	4 回
在宅医療・介護連携支援 Co・包括連携会議	3 回

○阿倍野区在宅医療・介護連携のための多職種研修会（共催）

「いきたひー看取り・命のバトナー」上映会&監督講演会

日 時 2月21日（土）午後2時～4時15分

場 所 大阪市立阿倍野中学校 多目的室

参加者 58人

(7) 自立支援ケアマネジメント検討会議

○自立支援型ケアマネジメント検討会議（主催会議） 8 ケース

参加者 医師、リハビリテーション専門職、ケアマネジャー、介護サービス事業所、区保健福祉センター、区内地域包括支援センター等

場 所 阿倍野区役所 別館

○自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議）

参加者 リハビリテーション専門職、圏域内ケアマネジャー

場 所 阿倍野区在宅サービスセンター3階会議室

内 容 個別ケース報告及びスーパーバイザー（理学療法士）による「とっておき情報・学習会」

日 程	内 容
8 月 20 日	統合失調症と THA（人工股関節全置換術）
11 月 19 日	舌癌・口腔機能について
2 月 18 日	脊髄小脳変性症と母指 CM 関節症の理解と支援

(8) 家族介護支援事業

介護を要する高齢者を在宅で介護している区内在住の家族及び介護に関心のある地域住民を対象に、介護に役立つ知識の習得と介護者同士の交流・意見交換の場の提供を目的として講座を開催した。

日 程	内 容
6 月 19 日	聞こえの勉強会

9月18日	「特殊詐欺」の話～こんな手口に気を付けて～
2月19日	健康な骨を守るために～骨密度を知ろう～
3月12日	若年性認知症の理解を深める講演会

(9) その他独自取組み

包括とランチのLINE運営 9回配信

2 認知症強化型地域包括支援センター事業

＜令和6～11年度公募による受託＞

区内1カ所の認知症施策を推進する中核機関として、区内のネットワークの充実を図ることにより認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の認知症対応力を向上することを目的として実施した。

(1) 認知症初期集中支援推進事業（愛称：あべのオレンジチーム）

認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、必要な医療や介護等のサービスの導入・調整や家族介支援等の初期の支援を集中的に行った。

①相談件数

種 別	件数
相談支援件数	32
簡易相談件数	312

②会議等の開催および参加

種 別	年度内累計
キャラバン・メイト連絡会	5回
チーム員会議	12回
あべのオレンジ連絡会	12回

③広報・普及啓発活動

種 別	件数
専門職対象（区役所、医療機関、福祉事業者等）	151
地域対象（地域行事、郵便局、集合住宅、銀行、コンビニ等）	109
合 計	260

(2) 認知症地域支援推進員

ア 若年性認知症の支援

- ・就労支援、サービス導入、関係機関との連携

- ・「若年性認知症の理解を深める講演会」(共催)

日 時 3月12日(木) 午後2時～3時30分

場 所 阿倍野区社協2階ボランティア活動センター

講 師 沖田 裕子氏(NPO法人認知症の人とみんなのサポーターセンター代表)

若年性認知症当事者グループ「タック」

参加者 31人

イ 支援困難症例にかかる個別ケースの後方支援

- ・地域ケア会議への参加(3回)

ウ 認知症の人を支援するネットワークの構築

- ・小地域ケア会議への参加(26回)

- ・阿倍野区アルツハイマーデープロジェクト

「認知症になっても、安心して暮らせるまちづくり」

啓発のためのポスター・モビール掲示の実施(284カ所)

区役所ギャラリーでの展示(9月15日～9月29日)

エ 区内の認知症支援にかかる社会資源の収集

- ・あべの認知症ケアパスの作成・普及・活用

- ・地域福祉コーディネーター会議の参加(12回)

オ 認知症支援に対する認知症対応力向上のための支援

- ・多職種連携／認知症支援のための事例検討会

「もしもの時の「意思決定支援」について」

日 時 6月7日(土) 午後2時～3時30分

場 所 阿倍野区役所 大会議室

講 師 沖田 裕子氏(NPO法人認知症の人とみんなのサポーターセンター代表)

参加者 51人

- ・市民向け認知症講演会(大阪市認知症等高齢者地域支援連携事業：共催)

「認知症に「ならない」「進めない」ためにできること」

日 時 11月8日(土) 午後2時～3時30分

場 所 阿倍野区民センター2階大ホール

講 師 武田 景敏氏(大阪公立大学医学部附属病院脳神経内科)

参加者 296人

- ・専門職向け認知症講演会（大阪市認知症等高齢者地域支援連携事業：共催）

「理解を深めることで変わる認知症ケア」

日 時 2月28日（土）午後2時～3時30分

場 所 オンライン

内 容 講義：「それぞれの立場から認知症を理解する」

中西 亜紀氏（大阪公立大学）

実践報告：施設入所者へのケア事例

池田 尚史氏（弘済院第2特別養護老人ホーム）

実践報告：ケアマネジメント事例

山田 真氏（弘済院第2特別養護老人ホーム）

参加者 51人

- ・認知症により道に迷われた方への見守り声掛け訓練：講師参加

11月7日	常盤地域松崎第1住宅
3月5日	晴明丘地域
3月9日	常盤地域

- ・認知症サポーター養成講座への協力（14回）

- ・介護予防教室 なにわ元気塾：講師参加（区内10地域）

- ・各包括による担当地域開催の認知症講演会への参画及び周知活動

カ 認知症の人および家族や介護者に対する支援

- ・「脳とからだのワーク」（定例毎月第2火曜 午前10時～正午）

対象者 MC Iの人、介護保険サービス未利用の人

場 所 阿倍野区社協2階ボランティア活動センター

- ・認知症カフェへの支援

キ 認知症の人の社会参加活動への支援

- ・フレー！フレー！あいちゃん

- ・菜園クラブ・野菜マルシェ

ク 区認知症施策会議への後方支援

- ・あべのあいあいねっと（阿倍野区認知症ネットワーク会議）（6回）

- ・認知症初期集中支援推進事業関係者会議（3回）

- ・地域課題検討・取り組みの実施に向けた会議（1回）

(3) オレンジサポーター地域活動推進事業

地域で活動を希望する、または活動している認知症サポーターに、認知症の人に係るボランティア活動に必要な知識の習得を目的としたステップアップ研修を実施し、認知症の人や家族を中心に、研修受講者（オレンジサポーター）で構成されたボランティアチーム「ちーむオレンジサポーター」の活動を促進。また、地域において認知症の人にやさしい取組みを行う企業・団体を「オレンジパートナー」として登録・周知し、地域における支援活動を促進した。

- 「オレンジパートナー（企業・団体）」登録 160カ所
(うち令和7年度新規5カ所)
- 「オレンジサポーター」登録 97人(うち令和7年度新規12人)
- 「ちーむオレンジサポーター」登録 35チーム
(うち令和7年度新規7チーム)

V 老人福祉センター部門

1 老人福祉センター事業 【愛称：ワクワクセンターあべの】

＜令和6年度より5年間指定管理者受託＞

※阿倍野区老人福祉センター（阪南町5-12-26）にて実施

老人福祉に関する各種の相談に応じ、高齢者の健康増進や教養の向上、またレクリエーションなどの機会を総合的に提供した。

（1）月別利用者数（団体利用含む） （ ）は令和6年度

	開館 日数	延利用者数	一日平均 利用者数	新規登録 ・更新
4月	25	1,278 (1,289)	51 (52)	266 (251)
5月	24	1,147 (1,167)	48 (49)	26 (21)
6月	25	1,184 (1,201)	47 (48)	15 (11)
7月	26	1,217 (1,293)	47 (50)	6 (16)
8月	25	989 (947)	40 (36)	4 (5)
9月	24	1,214 (1,180)	51 (51)	11 (11)
10月	26	1,354 (1,297)	52 (58)	5 (9)
11月	23	1,332 (1,384)	58 (58)	6 (11)
12月	24	1,210 (1,131)	50 (47)	8 (8)
1月	23	1,093 (1,102)	48 (47)	4 (7)
2月	22	1,118 (1,105)	51 (50)	7 (9)
3月	25	1,279 (1,269)	51 (51)	4 (15)
合計	292	14,415 (14,365)	53 (53)	362 (374)

（2）年齢別利用者数（団体利用含まず） （ ）は令和6年度

年齢別	利用人数
60歳～69歳	743 (737)
70歳～79歳	4,831 (4,947)
80歳～	6,510 (6,362)
その他	1,712 (1,671)
合 計	13,796 (13,717)

(3) 事業実施内容

① サークル活動

サークル名	開催回数	参加人数	備 考
書 道	11	105	第4土曜日
生 花	12	136	第1火曜日
茶 道	11	95	第4月曜日
紙 画 (廃部)			
民 踊	13	62	第3金曜日
俳 句	11	99	第2火曜日
俳 画	11	95	第1水曜日
詩 吟	23	231	第1・3土曜日
カラオケ	21	226	第1・3火曜日
おとなのてらこや (脳トレーニング)	33	781	第1・3金曜日
歌体操	11	51	第2月曜日
健康体操	47	590	第1・3 水・木曜日
手工芸	12	73	第3水曜日
囲碁同好会	287	1139	毎日
将棋同好会	287	459	毎日
コーラス (ピッコロ)	24	381	第2・4火曜日
フラワーアレンジメント	10	76	第2水曜日
太極拳	24	215	第2木曜日、第4月曜日
ゆったりエアロ	24	237	第2・4土曜日
オカリナ	23	304	第2・4金曜日
ウクレレ	24	540	第2・4木曜日
ヨガ	47	569	第1・3土曜日 第2・4金曜日

② 定例及び特別事業

事業名	開催回数	参加人数	備考
百歳体操	368	3, 375	月・木の週 2 回開催
かみかみ体操	48	194	毎週土開催
年賀状作り	1	12	
干支の色紙作り	2	39	
総合相談講座	0	0	実施なし
スマホ教室	3	53	
健康講座	2	49	
お楽しみ落語会	5	134	
かんたん体操	6	122	偶数月に開催
輪投げ大会	2	71	
ギター演奏会	1	20	別途いきがい事業で 4 回実施
あべのつながり フェスタ	1	45	
認知症カフェ	12	52	毎月第 3 金曜日に開催

③ 世代間交流事業

事業名	開催回数	参加人数	備考
お誕生会	6	163	奇数月に開催
夏まつり盆踊り大会※	1	85	8 月
新春のつどい※	1	96	1 月

※は生きがい事業で実施

④ 合同行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
文化祭※	1	241	11/13～14 2 日間

※は生きがい事業で実施